

## 【地方議員向け：議会質問案】令和6年度「支援対象児童等見守り強化事業」 (こども宅食)の導入について

生活困窮や子育てに困難を抱え、孤立する家庭の支援について質問いたします。

児童相談所による児童虐待の対応の件数が、昨年度21万9170件となり、過去最多となっています。この点、虐待対応にあたる自治体職員の研修などを行っている専門家は、「虐待の背景には貧困や孤立、若年での出産など、子育てを難しくしている要因がたくさんある。虐待が起きてから介入すると、保護者の抵抗感もあって支援につなげることが難しくなってしまう。問題が起きる前からの、予防的な支援が非常に重要だ」と指摘<sup>1</sup>しています。

このように、地域の活動や周囲の人から孤立している子育て家庭には、こちらから出張って接点をつくる「アウトリーチ」型の「こども宅食」が有効です。

「こども宅食」は、生活困窮家庭等への定期的な食品配送と見守りを実施する取り組みです。食品やオムツ等の日用品を定期的に家庭訪問により手渡すことで、状況の悪化に早めに気付いたり、丁寧に信頼関係を構築しながら、家庭や子どもに身近に相談できる人を増やすことができます。

困窮やDV等の家庭内問題を「周囲に知られたくない」と考えSOSを出さないケースや、障害などがあり困っている状況に自分でなかなか気づかない・必要な情報や手続にたどり着けない、など様々な理由で、必要な相談や支援につながっていない方々が地域にはいます。

### 支援が届きにくいのは、**様々な障壁や制約が存在する**から



#### 情報の伝達、手続の複雑化

とにかく自治体の支援の情報もこちらから調べないと分からないし、支援自体が少なすぎる。

日本語が不自由で書類を書くことができない。  
手続が面倒でサービス利用を諦めたことがある



#### 本人による課題認知の不足

自分たちは困っていない。  
(困っていることに気付いていない)

経済的に困窮しているが、中長期的な見通しが立てられない。何をどうしたらいいか、分からない。



#### 心理的な障壁 (拒否感・警戒感)

昔、支援を受けたときに嫌な思いをしたことがあって、もう関わりたくない。

家計も赤字だし、子育てもうまくできていないし、人に知られたら「親として失格」と思われるのでは



#### 物理的な制約

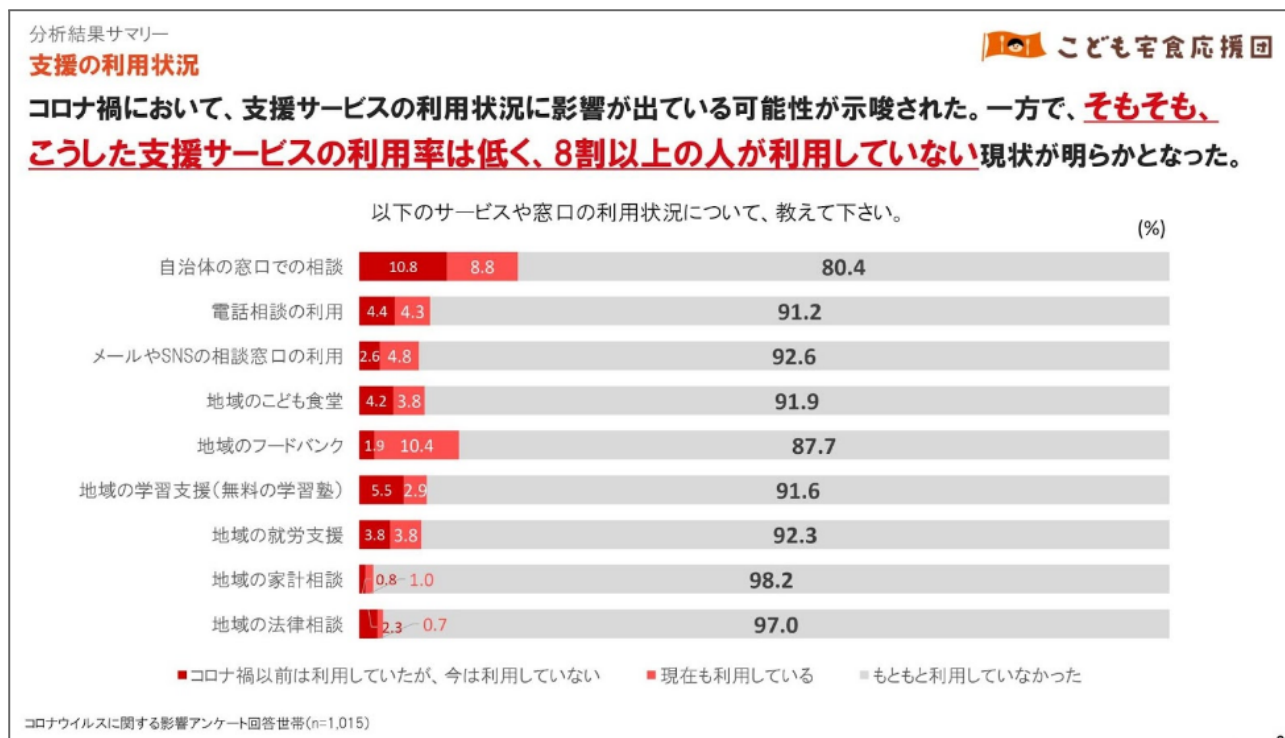
仕事を掛け持ちしながら子育て。  
平日の昼間に窓口に行く余裕がない。

フードバンクやこども食堂に行きたくても、ガソリン代や駐車場台を出すお金の余裕がないです。

『こども宅食』の全国普及活動を行う「一般社団法人こども宅食応援団」が2020年に実施したこども宅食利用者へのアンケートでは、生活に困っているにも関わらず、殆どの人が行政などの各

<sup>1</sup> <https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230907/k10014186541000.html>

種支援サービスを利用していないという結果が出ました。例えば、自治体の窓口で相談したことがない人が8割、地域の就労支援を利用したことがない人が9割にのぼりました。



(出典) <https://www.komazaki.net/activity/2020/06/post10603/>

困難を抱え、リスクのある子育て家庭と接点を確保できず、相談・支援ができなければ、ますます家庭内の状況が悪化したり、虐待のリスクも高まります。一方で、自治体では児童相談所等のマンパワーにも限界があり、民間団体の力も活用して予防的な見守りを実施することが必須になってきます。

このような取り組みを推進するため、国においても、令和2年度二次補正予算から「支援対象児童等見守り強化事業」が新設され、こども宅食等の実施を通じ、支援ニーズの高い子ども等を地域で見守る体制を強化するための経費を支援しています。

令和6年度概算要求では、国庫補助率3分の2で、1民間団体当たり約1,000万円となっていて、対象世帯も『困窮世帯』だけでなく『地域から孤立している家庭』や『特定妊婦』など、自治体が柔軟に決められることになっています。

## 支援対象児童等見守り強化事業

<児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金>

令和6年度概算要求額 208億円の内数 (208億円の内数) ※ ( ) 内は前年度当初予算額

### 目的

- 児童虐待のリスクの高まりを踏まえ、子育て世帯が孤立しないよう支援することが必要であるため、市町村の要保護児童対策地域協議会が中核となって、子ども食堂や子ども宅食等の支援を行う民間団体等も含めた様々な地域ネットワークを総動員し、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげることができる体制の強化を推進する。
  - ① 子ども食堂や子どもへの宅食等を行う民間団体等と連携して、食事の提供や学習支援等を通じた子どもの状況把握を行うことにより、地域における子どもの見守り体制の強化を支援する。
  - ② 新たな地域における見守りの担い手としてのNPO法人の重要性にかんがみ、クーポン・パウチャー等の活用による学習塾、習い事、子育て支援サービスなどの地域の多様な事業主体と連携した要支援児童家庭の新たな見守り強化モデルの確立を目指す。

### アウトリーチ型/居場所型

補助基準額：1か所当たり10,022千円

補助率：2/3

実施主体：市町村（特別区含む）



34

(出典) 令和6年度概算要求関係資料(子ども家庭庁支援局虐待防止対策課)<sup>2</sup>

市町村の社会福祉協議会や児童家庭支援センター、地域で自治体と連携実績のあるNPOなどが担い手となり、多くの自治体で手が上がっていると聞いています。[例えば、同じ/近隣の都道府県では、〇〇市(町)がすでにこの事業を実施しています。(※各自自治体の状況に応じて適宜修正ください。)]

また、子ども家庭庁はアウトリーチ型活動の強化が重要と考え、この令和5年度の補正予算分から予算の上乗せ<sup>3</sup>を検討しています。

悲しい虐待事件が起きてしまう前に、困っている家庭に対して「子ども宅食」のように出張していくアウトリーチ支援を行い、必要な場合は行政サービスにつなげていくことが重要だと思われます。

「支援対象児童等見守り強化事業」を活用し「子ども宅食」を導入することについて、自治体の見解を伺います。

以上

<sup>2</sup> 令和6年度概算要求関係資料(子ども家庭庁支援局虐待防止対策課)p.34

[https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/a176de99-390e-4065-a7fb-f569ab2450c/737299a8/20230401\\_policies\\_jidougyakutai\\_18.pdf](https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/a176de99-390e-4065-a7fb-f569ab2450c/737299a8/20230401_policies_jidougyakutai_18.pdf)

<sup>3</sup> 以下、補正予算成立前の、2023年12月4日時点の情報です:

令和5年度の補正予算による上乗せ「アウトリーチ支援・宅食事業」(※「支援対象児童等見守り強化事業」の拡充) P.11

[https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/88749a20-e454-4a5b-9da8-3a32e1788a23/b6e5ed96/20231110\\_policies\\_budget\\_11.pdf](https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/88749a20-e454-4a5b-9da8-3a32e1788a23/b6e5ed96/20231110_policies_budget_11.pdf)

参考資料:

【全国取り組み】

自治体事例:①青森県弘前市／②宮城県桶谷町／③栃木県日光市／④埼玉県三郷市／⑤石川県金沢市／⑥福井県越前市／⑦静岡県浜松市／⑧三重県桑名市／⑨京都府京都市／⑩山口県宇部市／⑪長崎県長与町／⑫宮崎県日南市

(令和3年 厚生労働省子ども家庭局オンラインセミナー共有資料)

[https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/dfd4848a-9194-4b7c-b228-1b7ed4847d58/07078d14/20230401\\_policies\\_jidouguyakutai\\_hourei-tsuuchi\\_160.pdf](https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/dfd4848a-9194-4b7c-b228-1b7ed4847d58/07078d14/20230401_policies_jidouguyakutai_hourei-tsuuchi_160.pdf)

その他の事例を探す:<https://hiromare-takushoku.jp/activity/>